

「平成30年7月豪雨」の被災者へ
2つの災害義援金の募金箱を設置しました

平成30年7月に西日本を襲った豪雨は、広い範囲で犠牲者が続出し、甚大な被害を及ぼしました。
市では、姉妹都市である愛媛県宇和島市の支援のため、7月9日から12日にかけて、水道部・総務部・建設部から職員計5人を派遣。宇和島市から要請があった、ペットボトル飲料水2万2千200本の支援物資を届け、被害状況の確認と必要な支援ニーズの調査を行いました。

「平成30年7月豪雨」
災害義援金受け付け

■ 姉妹都市・宇和島市への義援金

市の窓口を通じ、愛媛県宇和島市の被災者へ配分されます。

■ 日本赤十字社義援金

日本赤十字社を通じ、被災自治体から被災者へ配分されます。

募金箱の設置期間

平成30年12月31日(月)まで

募金箱の設置場所

市民課、各総合支所市民福祉課

宇和島市をはじめ、被災した地域では、被害の全容が少しずつ明らかになってきていますが、生活を揺るがす大変な状況に、復旧の見込みは立っていません。
市では、尊い命を失われた方にご冥福をお祈りし、残された家族や友人、被災された皆さんの一日も早い復旧・復興を応援するため、2つの義援金募金箱を設置します。
市民の皆さんのあたたかいご協力をお願いします。

世界農業遺産の活用に向けた推進会議を
立ち上げました

平成30年7月17日(火)、大崎地域の世界農業遺産を、地域の資源として保全・活用する方法を話し合うため、「アクションプラン推進会議」が設立されました。
この会議は、世界農業遺産に認定された大崎耕土の「地域資源を活用した交流人口の拡大」「農産物などの価値の共有と向上」「次世代の人材育成の推進」を主な目的としています。



▲総勢32人の有識者が集まり、世界農業遺産の今後の活用方法について考えました



▲会議の会長に選任された小金澤氏(左)と、副会長に選任された阿部氏(右)

今回の会議では、アクションプランを推進するため、大崎耕土の地域資源を屋根がない博物館として編成する「ワールドミュージアム構想」と、農産物などの認証制度について検討を行う2つの検討部会を設置しました。
意見交換では、「認証制度によるブランド化に期待する」、「地域での学びや活用への機会創出が必要」、「女性の目線を積極的に取り込む必要がある」など、さまざまな意見や提案が出されました。

Discover Osaki

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほの美味しい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



鳴子温泉発

カブトムシとふれあいました



▲がんばってつかんだよ!

7月13日、オニコウベスキー場のセンターキューブで、カブトムシの放虫式が開催され、川渡幼稚園17人と、池月保育所16人が参加しました。

この放虫式は株式会社オニコウベが主催する「かぶとむしふれあいの森」に先立って行われ、カブトムシを通して自然環境の大切さと、生命の尊さを考えてほしいという思いから、継続して行われています。

児童たちはカブトムシを怖がる場面もみられましたが、慣れてくると大きささまざまなカブトムシを手に取り、友達の服にくっつけるなど、カブトムシとのふれあいを楽しんでいます。



▲センターキューブ内「世界の昆虫展示館」にはたくさん昆虫が展示されています。

鹿島台発

シュワっとデリシャスなのごし

7月14日、JR鹿島台駅西口駅前交流広場で、「モーニングマーケット前夜祭 鹿島台駅前ビアガーデン」が行われました。



▲仲間とビールでかんぱい!

初開催となった今回、恵まれた天気と気温の高さも後押しして、予想を大幅に上回る800人以上が詰めかけ、席は常に満員状態。友人たちとのどを潤したり、地元の食材を使ったおつまみに舌鼓を打つ来場客で、会場にはにぎわいをみせていました。

また、鹿島台の名産 デリシャストマトを使った地ビールがリニューアルし、同日初披露されました。デリシャストマトの甘みと、ほどよいビールの苦みが特徴の「シュワっとデリシャス」は、鹿島台の酒類販売店などで販売中です。



松山発

歴史と文化の香るまち 松山を発信

6月27日、宮城県観光連盟から、観光功労表彰を受けた「まつやま訪ね歩きの会」(皆川榮三会長)が市役所を訪れ、伊藤市長に受賞報告をしました。公民館事業で松山の歴史などを学んだメンバーが、平成11年4月に同会を結成。月に1~2回学習会を開き松山地域の歴史などを学んでいます。年に20件ほど、市内外からの観光客に史跡や観光施設を案内しています。報告を受けた伊藤市長は「会の活動を通して、市の豊富な観光資源のPRに努めていただいている。

他の地域にも広めていただきたい」と励ましの言葉を送りました。皆川会長は「受賞は会員皆さんや先輩たちの汗のたまもの。今後は世界農業遺産も学び、広める取り組みも行っていきたい」と話しました。



▲松山御本丸公園を案内する皆川会長(右)

23日	21日	20日	17日	13日	10日	9日	8日	5日	2018 7月の主な出来事
●空家等の適正な管理の推進に関する協定式	●宮城大学移動開放講座 開講会	●旧有備館および庭園茶亭保存修理工事完成記念茶室披露会 ●図書館開館1周年記念事業・記念講演会	●第1回世界農業遺産アクションプラン推進会議	●西日本豪雨被災地支援派遣隊報告会	●トランスイット四季島おもてなしに対するJR東日本からの感謝の盾授与	●西日本豪雨災害による宇和島市への職員優良工事表彰状授与式	●第42回宮城県消防協会大崎地区支部消防操法大会	●大崎市道路クリーンキャンペーン出発式	
▲平成30年7月豪雨の被害を受けた愛媛県宇和島市に派遣した職員から、活動報告を受けました									